

手袋形の花を穂状につける植物。

< 植物名 >

ジギタリス

キツネノテブクロ

総称

水やり

土の表面が乾いたら、たっぷりと水やりをする。

置き場所

水はけ、日当りのよい場所に置くが、半日陰でも良く育つ。

用土肥料

元肥以外に肥料は必要ない。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

2~3年に1回はタネをまいて株を更新させる。

冬越し

特記事項なし。

使い方 花壇、鉢植え

学名 Digitalis

英名 foxglove

属名 キツネノテブクロ

科名 ゴマノハグサ

性状(分類) 二年草あるいは多年草

原産地 ヨーロッパ、北アフリカ、アジア

花の色 ピンク、薄紫、白

開花期 5~7月

購入時期

草丈 1~1.5m

ID 355

季節 春 夏

JFコード 14342



冬越しと置き場所

水はけの良いところなら土質を選ばない。日当りのよい場所に置くが、半日陰でも良く育つ。

その他の解説

元肥以外に肥料は必要ない。花後に花穂を切り取ると、二番花が楽しめる。株分けがしにくいいため、2~3年に1回はタネをまいて株を更新させる。

特徴1

花が手袋の指のように見えることからキツネノテブクロという名がある。土の表面が乾いたら、たっぷりと水やりをする。

特徴2

ヨーロッパ、北アフリカ、アジアに約25種が分布するという多年草または二年草。1~1.5mとかなり大型の植物で、釣鐘型の花を穂状につける。英名のfoxgloveは、花が手袋の指のように見えることに由来している。観賞用としてだけでなく、古くから薬用植物として利用されている。また、イギリスの庭園などでは、大型の草姿を生かした植栽がされている。